

平成28年度 経営計画の評価

当協会では、業務に関する経営方針や取組むべき重点課題を認識し、適切な業務運営を確保するために、年度経営計画を策定しております。また、経営の透明性を向上させ、対外的な説明責任を果たすために、年度経営計画の実施状況に係る内部評価を行い、外部の中立的立場の有識者で構成された外部評価委員会による外部評価を受けましたので、ここにその結果を公表いたします。

事業計画・収支計画・財務計画

- 保証部門では、金利水準の低下に伴う保証料の割高感等、協会を取巻く環境が変化したことから保証承諾、保証債務残高ともに対計画比、対前年実績比で減少となりましたが、顧客のライフステージに応じた支援の充実化や、地域活性化に向けた商品拡充と推進を図ることにより、県内中小企業・小規模事業者に対し、円滑な金融支援が行えたものと評価しています。
- 期中管理部門では、代位弁済が対計画比、対前年実績比で増加となりましたが、引続き落ち着いた水準で推移しています。これは、政府により実施された「中小企業金融円滑化法の期限到来に当たって講ずる総合的な対策」等の効果に加え、企業サポート室による積極的な経営支援を行った結果であるものと評価しています。
- 回収部門では、実際回収が対計画比、対前年実績比で減少となりました。代位弁済が低水準であることや、無担保、第三者保証人が無い債権の増加により、回収環境が厳しい状況にあることが要因と考えられます。回収は協会の収支に与える影響も大きいことから、引続き努力していく必要があると認識しています。
- 年度経営計画に基づき信用保証業務の健全な運営に努めた結果、当期収支差額は41億6千万円となりました。

(単位：百万円、%)

保証～回収業務等	平成28年度計画	平成28年度実績		
	金額	金額	対計画比	対前年実績比
①保証承諾	516,920	483,770	93.6	92.1
②保証債務残高	1,028,460	1,017,259	98.9	93.8
③保証債務平均残高	1,055,293	1,045,211	99.0	95.4
④代位弁済	17,435	18,082	103.7	103.1
⑤実際回収	5,174	4,727	91.4	86.6
⑥当期収支差額	4,131	4,160	100.7	84.5

各部門の重点課題とその内容

【保証部門】

- 顧客ニーズの把握
金融機関・商工団体への訪問、金融機関向け説明会の開催により情報交換や連携体制を強化し、事業者の現状把握や顧客ニーズの情報収集等に積極的に取り組みました。
- 顧客サービスの充実
審査日数の短縮化への取組みや、創業セミナー、創業スクールにおける休日開催や開催回数の増加に加え、テーマ別に受講者の自由選択制としたこと等、創業支援において積極的な活動を展開しました。
- コーポレートガバナンスの強化
定期的な内部会議の開催により、協会の経営方針、経営理念等の基本方針を職員全員が理解し、意識の統一を図ることができました。また、ファイリングシステムの適正な運用により、顧客情報管理の徹底を図ることができました。
- 地域経済活性化への取組み
新たな雇用の創出や設備投資などにより、地方創生に取組む中小企業を支援する保証制度「パワフルちば」を活用し、金融機関と連携した支援を実施しました。

平成28年度 経営計画の評価

【期中管理部門】

●顧客ニーズの把握

当協会が事務局として中小企業支援ネットワーク会議や関係機関との情報交換会議を実施し、経営支援、事業再生、創業支援について円滑な業務運営を実施しました。

●顧客サービスの充実

企業サポート室では企業担当制を敷き、積極的な企業訪問、金融機関訪問を実施したほか、専門家派遣によるワンポイントアドバイスや経営改善計画策定支援、借換えによる資金繰り円滑化等、きめ細かい支援を行いました。

●経営の健全化

適正な保証推進のため、フィードバック研修を実施したほか、専門部署である再生サポートチームにて事業再生支援の積極的な取組みを実施しました。その結果、事業再生への貢献度の高さが評価され、再生支援協議会全国本部から表彰を受けました。

●地域経済活性化への取組み

後継者問題や海外展開の必要性から、事業承継および海外展開サポートデスクの人員を増加させ、相談から金融支援までのワンストップ対応を可能とし、利便性向上ときめ細かい支援を実施しました。

【回収部門】

●顧客サービスの充実

企業再生・経営の健全化を図るため、求償権顧客について再生支援を行うことができました。

●経営の健全化

社内弁護士による法律相談や早期事件申立などにより求償権回収の最大化に努めました。

●経営の効率化

定例会議等を通じてサービスとの連携強化を図り、求償権回収の促進を行いました。

●能力開発・人材育成への取組み

外部講師を招いた研修会や金融機関債権管理部門との合同研修を行い、知識の習得に努めました。

【その他間接部門】

●顧客サービスの充実

金融機関との合同研修会の実施、制度紹介パンフレットの製作、新制度の創設、そして既存制度の見直し等を通じて利便性の向上に努めました。

●地域経済活性化への取組み

地方創生に貢献するための保証制度「パワフルちば」、事業承継保証制度「みらい」等の普及に努めました。

●能力開発・人材開発への取組み

全国信用保証協会連合会等が主催する各種研修会・講習会に積極的に参加し、能力開発・人材育成に取組みました。また、異業種派遣研修として、外部機関への派遣を実施しました。

コンプライアンス体制および運営状況について

●コンプライアンス体制

コンプライアンス体制を組織的、かつ、公正に運営するため、「理事会」「常勤役員会」「検査室」の他に、「担当委員会」「担当部署」および「担当者」を設置・任命し対応しました。

●コンプライアンス運営

活動状況については当初計画通り実施し、年間を通し法令等の遵守に努めました。

総合評価

『経営環境の転換点を自覚し、将来への布石とした年度』

平成28年度は、県内経済が緩やかな回復基調を続けているなか、未だ厳しい経営環境にある県内中小企業・小規模事業者が求める経営支援・金融支援に対して、充実した支援を実施しました。なかでも経営改善が進んでいない企業に対する経営支援や、創業後間もない企業に対しては、支援機関と連携し、きめ細やかな支援を実施しました。また、海外展開、事業承継支援等、地域経済活性化に向けた取組みについても、関係機関との連携強化を図り充実した支援を実施しました。

一方、保証承諾については、金利水準の低下に伴う保証料の割高感等から下期については、前年比、計画比ともに大幅に下回る傾向が見られ、結果として平成28年度の保証承諾額は計画比93.6%、保証債務残高も同98.9%となりました。

保証動向の推移と国の中政審金融WGのとりまとめを受け、将来に向けた問題意識と危機感を役員で共有し、基本理念の実現に向けた行動理念と部門毎のアクションプランを取り纏めました。今後も職員一丸となって鋭意努力し、協会としての社会的使命を果たしていく所存です。

外部評価委員会の意見

1. 業務実績について

【保証部門】

- ・顧客ニーズの把握に向けた金融機関や商工団体への訪問は効果的な情報収集と関係深化の観点から評価できる。
- ・創業セミナーやスクールの開催等の支援活動により、顧客にとって身近な存在となることは重要であり、今後も継続してほしい。

【期中管理部門】

- ・事業再生への貢献度が評価され、関係機関から表彰を受けたことは真摯に取り組んできた成果として評価できる。
- ・事業承継や海外展開等、専門性が問われる分野において、相談機関となることは顧客にとって心強いものであり、意義深い。
- ・代位弁済が増加傾向にあるため、今後の推移に注意する必要がある。

【回収部門】

- ・社内弁護士を活用した法律相談や事件申立て等、求償権回収の最大化に向けた取組みが行なわれているが、回収額が伸び悩んでいることが懸念される。

【その他間接部門】

- ・顧客の声を反映させたパンフレットの製作や制度創設・見直しを実施してきたことは、顧客満足度の向上につながり評価できる。
- ・LINE@や無料情報誌、デジタルサイネージ広告等、認知度向上に向けた広告宣伝活動に創意工夫が見られる。

2. コンプライアンス体制および運営状況について

- ・研修等による知識と意識の向上と真摯な対応を心掛けることで健全経営を目指してほしい。

3. 総括

- ・収支も安定しており、経営の健全性を維持していることは評価できる。
- ・顧客の声を反映させた取組みは、サービス充実の観点からも今後も継続することが大事である。
- ・経営環境の潮目が変わり始めており、今までの業務のやり方を見直す時期を迎えている。
- ・顧客との距離を縮めるために行ってきた経営支援活動を継続し、相談し易い環境を整えることが肝要である。
- ・厳しい経営環境が続くことになるが、目先の目標にとらわれず、堅実に歩むことが重要である。